

# ほほえみ紀行



人輝き 心和らぐ  
躍動のまち久御山  
～人・環境・協働のまちづくり～

- p2 人へ、未来へ、笑顔と夢がひろがる久御山
- p4 学校・家庭・地域  
社会全体で育む**子育て** —— 子どもたちの健やかな成長と子育てを、町全体で支えあう
- p5 整った**住環境** —— この町で暮らすことが誇りとなるように
- p6 すべての人を見守る**福祉** —— ふれあいながら、笑いながら、心あたたかに暮らす
- p7 地の利を生かした**産業** —— この町ならではの「ブランド」をつくる
- p8 久御山イラストマップ
- p10 久御山町の主な歩み

Vol.27  
2013.1





整った住環境

すべての人を  
見守る福祉

地の利を  
生かした産業

## 次代のために 進化する久御山町を創造

久御山町長 信貴 康孝  
しんき やすたか

本町では、町の個性を大切にしながら、いっそう魅力的なまちづくりに取り組んでいます。人口の減少をはじめ、少子高齢化や経済成長率の低下など、私たちを取り巻く社会情勢は大きく変化しています。それに伴い、地域の課題も複雑・多様化し、地域づくり・まちづくりにも変化が求められています。

私は、先人や先輩諸兄が築いてこられた久御山町をさらに発展させ、子どもから高齢者までのびのび元よく暮らす——「みんなで築こう 次代に誇れる わがまちくみやま」を基本理念に、住民と行政の協働と連携を推進し、進化するまちの創造と継承に、住民の皆さまとともに歩みつづけます。



# 人へ、未来へ、

# 笑顔と夢がひろがる久御山

学校・家庭・地域  
社会全体で育む子育て

今までも、これからも  
進化を続ける町として

京都府の南部に位置する久御山町は、昭和29年10月1日、久世郡の御牧村、佐山村が合併して誕生しました。町名は、久世郡の「久」、御牧村の「御」、佐山村の「山」の文字を使って名付けられました。それから約60年。宇治川、木津川や巨椋池干拓田など、豊かな自然に恵まれた本町は、京都・大阪間に位置する立地条件を生かし、利便性の高い町として発展してきました。

また広域幹線道路路網の整備は、町の歴史を大きく変えると同時に、活力をもたらしました。人やモノ、情報交流する拠点となり、現在では、京都府南部の中核として発展を続けるとともに、さまざまな魅力を持つ町として、多くの人がふれあい、学び、働き、健やかな暮らしを営んでいます。



この町で暮らすことが誇りとなるように

# 整った住環境



## 都市機能と豊かな自然に恵まれた町

都市近郊でありながら、田や畑などの豊かな風景が広がる久御山町。国道1号・国道24号・京滋バイパス・第二京阪道路などの広域幹線道路が町を通り、近畿圏における交通の要衝となっています。交通網の結節点ということからも産業が発展しました。こうしたなか本町では、早くに用途地域を決定し、工業・農業・住宅がそれぞれの環境を守りながら、調和のとれた誰もが住みやすい環境を保っています。

## 心をつなげ、町づくりの土台となる施設

こうした環境のもと、幅広い年齢層の住民が利用できる生涯学習施設ふれあい交流館「ゆう

ホール」や中央公民館、体力向上と健康増進を

図る健康センター「いきいきホール」、スポーツ活動の場を提供する総合体育館や中央公園、各種健（検）診をおこなう保健センターなどは、人々の心をつなげるだけでなく、活気ある町の土台にもなっています。

また、交通不便地の解消と公共施設への移動手段である町内巡回バス「のってこバス」が東西2ルートで運行するなど、バス交通を利用した便利なまちづくりに取り組んでいます。

広域幹線道路網が整い、交通アクセスが便利になって、町の魅力は遠く広くに届けられています。これからも、誰もが住みたい、住み続けたいまちづくりに取り組んでいきます。



緑あふれる住宅



幅広い年齢の人々が集う「ゆうホール」



各施設を結ぶ町内巡回バス「のってこバス」



子どもたちの健やかな成長と子育てを、町全体で支えあう

# 学校・家庭・地域 社会全体で育む

# 子育て



## 一貫的教育で子どもを育む久御山学園

本町では、子どもたちの健やかな成長を地域ぐるみで見守っています。平成23年度からスタートした「久御山学園」は、町立保育所・幼稚園・小学校・中学校が、目指す子ども像を「人生を開拓しようとする子」として、基本的生活習慣の確立、学力の充実・向上を図り、中学3年生の希望進路の実現に向けて連携を深めながら一貫的教育で子どもたちを育んでいくことを目指しています。また、「コミュニティ・スクール」を推進するなど、地域とともに子どもたちが健やかに成長する魅力的な学習環境づくりにも取り組んでいます。



中学生家庭科  
幼稚園訪問



2歳6か月児歯科健診



元気な子どもたち



子育ての輪が広がる  
「あいあいホール」

## みんなで育ち、支えあう、子育て

子育て支援では、さまざまな福祉サービスを展開し、子どもと保護者をバックアップしています。子育て支援センター「あいあいホール」は、子育てを支える拠点として、相談や色々な講座などをおこなったり、子育てサークルに活動の場を提供。さまざまな人と交流しながら楽しく子育てができるよう、サポートしています。

さらに子育て中の家庭を援助するため、修学旅行費や校外活動費などの補助や中学校就学までの児童への医療費助成など、保護者負担の軽減策を実施しています。

一貫的教育と地域のつながりなどにより、本町では、町全体で将来を担う子どもたちの成長をサポートしていきます。



# 地の利を生かした産業

## 産業のさらなる活性化を

広域幹線道路網の整備が進み、物流にも恵まれた本町には、約1,700の工場・商店などの事業所があります。そのうち製造業の事業所が約480社で、製造品出荷額は府内町村で2番目に多いことから、本町は「ものづくりの町」として知られています。

一方、農業では、米作りとともにほうれん草、水菜などの軟弱野菜の栽培も盛んで、野菜を束ねるビニール帯に、「くみやま産」を表示するなど、消費拡大とブランド化を進め、新鮮な野菜を京都・大阪の消費地に供給しています。また、淀大根(聖護院大根)や淀苗(野菜苗)などの伝統ある農産物も好評を得ています。

こうしたなか、産業のさらなる活性化のために平成22年4月に久御山ジャンクション周辺にバスターミナルとともに、「まちの駅」クロスピアくみやま」がオープンしました。町内に集積された農・商・工の高い技術や優れた製品をうまくマッチングさせ、地域情報の発信、農産物・特産品販売などをあわせて、本町の産業の活性化を図るにぎわい交流拠点として活動しています。



産業の活性化を図るまちの駅「クロスピアくみやま」



軟弱野菜の畑がひろがる農地



ふれあいながら、笑いながら、心あたたかに暮らす

# すべての人を 見守る福祉



生き生きと暮らせるまちづくり

核家族化や少子高齢化、地域とのかかわりの希薄化が進み、高齢者・障害者の介護やひとり親家庭、家庭内暴力など生活上の困難を抱える家庭が増えるとともに、問題も多様化・複雑化しています。

本町では、さまざまな課題に対応するため、高齢者保健福祉計画や新障害者基本計画、次世代育成支援行動計画などを策定しました。また、各分野の計画が持つ専門的考えや取り組みなどを総合的につなぎ地域福祉活動を広げるための「地域福祉計画」に基づき、「みんなであつくり安心して生き生きと暮らせる福祉のまち」を目指しています。



ふれあい福祉まつり

必要とする人の福祉ニーズや課題にきめ細やかに対応し、状況に応じた支援活動を進めるため、行政と住民をはじめ、民間福祉団体や企業等、

地域のすべての人が連携・協力し、だれもが安心して住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちづくりに取り組んでいます。

## 元気な毎日をサポートする 福祉施設と活動支援

本町では、高齢者や障害者が住み慣れた地域でいつまでも暮らすことができるよう、さまざまな機会や場所を設けています。体力の向上と健康増進をはかる健康センター「いきいきホール」、憩いの場としてサークル活動を支援する老人福祉センター「荒見苑」などの福祉施設を活用するとともに、障害者の相談支援をおこなっています。



元気の源  
荒見苑のクラブ活動



世代間交流

# 久御山イラストマップ

のどかな風景が広がる久御山町。  
豊かな自然とともに、歴史を伝える名所や  
施設が、あちらこちらに存在しています。  
もっと深く久御山町を知ること  
で、新しい魅力に気づくかもしれません。



**A** まちの駅  
「クロスピアくみやま」



**B** 子育て支援センター  
「あいあいホール」



**C** 久御山中央公園



**D** 中央公民館



**E** 総合体育館



**F** 町民プール







⑥ ふれあい交流館「ゆうホール」



⑧ 木津川河川敷運動広場



① 健康センター「いきいきホール」



② 老人福祉センター「荒見苑」



④ 上津屋橋(流れ橋)



⑤ 雙栗神社



## 昭和29(1954)年

### 10月

御牧村と佐山村が合併し、久御山町が誕生  
(人口6,588人、世帯数1,235世帯、面積13.86km<sup>2</sup>)  
町消防団発足

### 11月

初代町長に田村義雄氏を選出

## 昭和30(1955)年

### 4月

町長選で西村正作氏初当選

### 10月

国勢調査で町の人口6,524人、世帯数1,225世帯

### 11月

役場庁舎を田井に移転

## 昭和31(1956)年

### 2月

社会福祉協議会結成

### 6月

御牧保育所開所

### 12月

財政再建団体に指定

## 昭和32(1957)年

### 4月

淀中学校が京都市・久御山町事務組合立となる

## 昭和34(1959)年

### 8月

台風7号による集中豪雨で巨椋池干拓田冠水

## 昭和35(1960)年

### 3月

財政再建団体の指定解除

### 5月

国民健康保険制度を実施

## 昭和38(1963)年

### 4月

町長選で澤野平右衛門氏初当選

## 昭和41(1966)年

### 1月

町長選で鶴ノ口平太郎氏初当選

### 3月

国道1号枚方バイパス開通

## 昭和42(1967)年

### 1月

町広報紙を創刊

### 6月

老人クラブ連合会発足

### 10月

第1回町民運動会開催

## 昭和43(1968)年

### 4月

天ヶ瀬ダム上水道通水式

### 7月

ごみ収集業務開始

## 昭和44(1969)年

### 6月

上水道工事完成

### 7月

役場庁舎(旧)完成

### 10月

「町章」制定

## 昭和45(1970)年

### 2月

消防庁舎(旧)完成

## 昭和46(1971)年

### 12月

都市計画の区域区分決まる

## 昭和47(1972)年

### 3月

町の木に「さざんか」、町の花に「さつき」を制定

### 6月

町の人口10,000人突破  
商工会発足

## 昭和48(1973)年

### 4月

国道24号大久保バイパス開通

### 8月

建設省久御山排水機場完成

### 12月

都市計画の用途地域決まる

## 昭和49(1974)年

### 6月

消防本部・消防署発足

## 昭和50(1975)年

### 3月

住民憲章・町のうた制定

### 4月

久御山中学校開校、東角小学校開校、佐山幼稚園開園、宮ノ後保育所開所

### 8月

久御山団地入居開始

### 11月

中央公民館オープン

## 昭和51(1976)年

### 3月

新消防庁舎完成  
佐山排水機場完成

### 4月

新淀大橋完成

### 7月

中央公民館に図書室オープン

### 11月

第1回町民文化祭開催



## 昭和52(1977)年

### 1月

府営東佐山団地入居開始

## 昭和53(1978)年

### 4月

中央公園野球場オープン

### 9月

東角幼稚園開園

### 11月

「くみやま音頭」ができる

## 昭和54(1979)年

### 7月

中央公民館図書室貸出開始

## 昭和55(1980)年

### 4月

府立久御山高等学校開校

## 昭和56(1981)年

### 4月

御牧幼稚園開園

### 5月

体育振興会結成



昭和42年ごろの町民運動会



# の主な歩み



7月

青少年健全育成協議会発足

## 昭和58(1983)年

7月

木津川河川敷運動広場オープン

## 昭和60(1985)年

4月

老人福祉センター「荒見苑」オープン

## 昭和61(1986)年

7月

町民プールオープン

## 昭和63(1988)年

8月

町長選で田口清氏初当選  
京滋バイパス一部開通  
国道24号大久保バイパス  
北伸部開通

9月

体育協会発足

10月

京都国体秋季大会開催  
(サッカー・馬術)

## 平成元(1989)年

5月

第1回町総合体育大会開催



10月

平和都市を宣言

11月

第1回ふるさとフェア久御山を  
開催

## 平成4(1992)年

4月

総合体育館オープン

## 平成5(1993)年

4月

佐山保育所で0歳児保育始まる  
3幼稚園で3歳児保育始まる

## 平成6(1994)年

4月

くみやま共同作業所開所

## 平成8(1996)年

1月

議会棟及び保健・地域福祉セ  
ンターオープン



## 平成9(1997)年

4月

リサイクルごみの分別収集開始

8月

京都総体(インターハイ)開催  
(バスケットボール・サッカー)

## 平成10(1998)年

4月

シルバー人材センター設立

6月

町防災行政無線システム開局

## 平成11(1999)年

3月

交通安全推進のまちを宣言

4月

(財)町文化スポーツ事業団を  
設立

8月

ふれあい交流館「ゆうホール」、  
図書館オープン

## 平成12(2000)年

4月

新役場庁舎完成

8月

町長選で坂本信夫氏初当選

## 平成15(2003)年

3月

第二京阪道路部分開通

4月

健康センター「いきいきホール」  
オープン

東角幼稚園で幼保一体的運営  
がスタート



5月

商工会館完成

8月

京滋バイパス全線開通

## 平成16(2004)年

1月

のってこバス試験運行開始

8月

久御山町農産物直売所  
「旬菜の里」オープン

10月

男女共同参画都市を宣言

## 平成17(2005)年

3月

巨椋池排水機場完成

6月

国道1号京都南道路開通

## 平成18(2006)年

7月

家庭用使用済みてんぷら油の  
回収開始

## 平成19(2007)年

4月

のってこバス本格運行開始

## 平成20(2008)年

4月

子育て支援センター「あいあい  
ホール」オープン

## 平成21(2009)年

3月

住所表示変更(大字小字を廃止)

## 平成22(2010)年

3月

新木津川大橋開通(第二京阪  
道路側道)

4月

まちの駅「クロスピアくみやま」  
オープン



## 平成23(2011)年

4月

久御山学園スタート  
久御山中学校改築工事完成

11月

第26回国民文化祭開催



## 平成24(2012)年

8月

町長選で信貴康孝氏初当選

12月

ごみ袋指定化の試行開始

# 久御山町 DATA

## 町章



「久」の文字を近代感覚により図案化したもので、町民の融和と団結を太い円で表し、さらに産業、文化など町勢の飛躍的發展を飛鳥の姿で象徴しています。  
(昭和44年10月制定)

## 町の花 さつき



ツツジ科の常緑低木で6月ごろ、鮮やかな紅紫色の花を数多く付けます。  
(昭和47年3月制定)

## 町の木 さざんか



初冬、白色か薄紅色の五弁の大きな花をつける常緑樹。花の少ない季節に咲くので、それだけに美しさが好まれています。  
(昭和47年3月制定)

## 久御山町へのアクセス



久御山町は京都市の中心部から南へ約15km、山城盆地の南西部に位置しています。面積は13.86km<sup>2</sup>の平坦な地形です。

- お車で** 久御山淀IC  $\xrightarrow{\text{府道宇治・淀線}}$  久御山町役場 車3分
- 京都駅から** 京都駅  $\xrightarrow{\text{近鉄京都線 急行 20分}}$  大久保駅  $\xrightarrow{\text{京阪シティバス 京阪宇治バス 20分}}$  久御山町役場前

